

マシモ LNCS リューザブルセンサ

【禁忌・禁止】

併用医療機器

磁気共鳴画像診断装置(MRI)環境下では使用しないこと。
[誘導起電力による発熱で患者が熱傷を負う恐れがあるため]

【形状・構造及び原理等】

形状



製品の外観

構造・構成ユニット

**1. 本製品は動脈血酸素飽和度(SpO2)センサである。

カタログ番号	品名
*2027258-001	LNCS DC-I

2. 使用環境条件(標準環境)

周囲温度: 10~40℃

相対湿度: 30~75%

【使用目的又は効果】

使用目的

成人患者の手指、及び足指に使用し、皮膚を通して光を照射、動脈組織血中のオキシヘモグロビン、及びデオキシヘモグロビンによって吸収される光量を検知するために用いる用具である。
親機で信号が受信され、結果が表示される。

【使用方法等】

使用方法

1. センサ接続部は当社認定のインターコネクトケーブル等に接続すること。

推奨測定部位は利き手、利き足の反対側の指である。



2. センサの接続は下図の通りである。



3. センサ部位は少なくとも 4 時間毎に(血行が悪い場合はもっと頻繁に)装着部位を変更すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 血液の灌流状態が不十分な患者に対しては特に注意を払うこと。センサの装着部位が頻繁にモニタされていない場合、水泡、皮膚のびらん、虚血性の皮膚壊死(例: 皮膚の変色、発赤等)が発生する恐れがあるため、左記の症状が確認された際は、直ちにセンサの装着部位を変更するか、別タイプのセンサを使用すること。
2. 以下の状況で計測を行うと正確な測定結果が得られない場合があるため注意すること。
 - (1) センサを装着している同じ手足で血圧測定用カフ、又は動脈血圧測定装置を使用しないこと。
 - (2) 強い周囲光環境下では、正しく測定できないおそれがあるため、測定は行わないこと。
 - (3) 血管内色素、及び外部の着色は不正確な SpO₂ 値が測定されるおそれがあるため注意すること。
 - (4) 大動脈内バルーンによる脈拍数が、パルスオキシメータ上で加算されることがあるため、ECG 心拍数で確認すること。
 - (5) 静脈性鬱血によって、実際の動脈酸素飽和度より低い値が表示されることがあるため測定時は注意すること。
 - (6) 静脈の拍動によって低い測定値が表示されることがある注意すること。(三尖弁の逆流など)

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

1. 目視による点検
 - (1) 外観の確認
 - ・ 製品の的外観に異常がないことを確認すること。
 - ・ 損傷や摩耗がないこと。
 - (2) 清浄性の確認
 - ・ 清浄な状態であることを確認すること。
 - ・ 洗浄する場合は以下事項に従って行うこと。
 - 1) センサをケーブルから取り外し 70%のイソプロピル・アルコールを含ませたパッドを用いて、清拭すること。
 - 2) 軽度の消毒が必要な場合は 10 倍に薄めた漂白剤をつけた布で拭くこと。
 - 3) 別の布に滅菌水(蒸留水)をしみこませ、センサとケーブルの表面を清拭すること。
 - 4) 乾燥した布(ガーゼ等)で拭き、十分に乾燥させてから使用すること。
 - (3) 機能の確認
 - ・ 製品の正常状態の確認
 - ・ 正常状態・正常動作を確認すること。
 - ・ 異音、異臭がないことを確認すること。
 - (4) 安全機能の確認
 - ・ 全てのケーブルやコネクタが安全にセットされているか確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

住所： 〒191-8503 東京都日野市旭が丘 4-7-127

お問い合わせ先： 消耗品受注センター
電話： 0120-187-855
FAX： 042-582-6923

製造業者： マシモ コーポレーション
(Masimo Corporation)

国名： アメリカ合衆国

社内部品番号： 5826214